

1. 参加市町村における官民連携事業の実績

◆PFI-BTO方式

○呉市：斎場整備場等事業

老朽化した斎場を建替え、火葬炉10基、汚物炉1基、動物炉1基を備えた新斎場を整備。

呉市斎場



◆DBO方式

○宇部市：公共下水道玉川ポンプ場事業

栄川ポンプ場（S32年供用開始）と鶴の島ポンプ場（S42年供用開始）の2つのポンプ場の老朽化に伴い、両ポンプ場を廃止・撤去の上、事業者は機能統合した玉川ポンプ場を新たに整備し、20年間の維持管理業務を実施。PFI法に基づく調達手続きを参考としたDBO方式により整備。DBO方式での合流式ポンプ場の整備は全国初。

玉川ポンプ場のイメージ



◆公的不動産の活用

○尾道市：尾道系崎港西御所地区活用事業

築70年を超える港湾施設（県営2号上屋）とその周辺の一体的な活用を図った。公募プロポーザルにて選定した事業者の提案にそって改修。レストラン、セレクトショップ、サイクリスト用ホテル等を有する複合施設となった。

ONOMICHI U2



◆DBO方式

○呉市：一般廃棄物最終処分場整備等事業

クローズド（覆蓋）型処分場をDBO方式により整備。事業者は、施設の設計・建設と15年間の運営・維持管理及び埋立完了後2年間の施設管理を実施。

エコ・クローブくれ



◆包括的民間委託

○呉市：クリーンセンターくれ 長期包括的管理運営事業

H26年4月～H40年3月まで14年間にわたり、施設の運転管理・維持管理等業務を事業者へ委託。

クリーンセンターくれ



○尾道市：瀬戸田町古民家等活用事業

寄付取得した古民家をにぎわい創出の拠点施設として活用するため、公募プロポーザルにて活用事業者を選定。古民家を選定事業者へ売却。H30年8月に事業者を決定し、国内外の宿泊客を対象とした滞在型拠点施設として、R3年に開業予定。



2. 参加市町の状況

【官民連携事業を想定する案件の有無】

①検討している、活用したい施設がある	6団体
②現在、案件はないが官民連携には関心がある	5団体

【官民連携事業を想定する案件】

自治体名	事業内容
井原市	廃校となった小学校・幼稚園施設の有効活用
呉市	呉駅周辺地域の総合開発
竹原市	市役所・市民ホール・図書館・児童館・コミュニティスペース等複合施設の整備
府中市	市民プールの建替え
世羅町	多目的スポーツ施設（仮称）の整備
山陽小野田市	拠点施設の整備、維持管理、運営等

3. 官民連携事業に取り組むにあたっての課題

- 交通の利便性のあまり良くない立地条件にある公共施設について、事業性が乏しいため、民間事業者の参入が見込めない。
- 職員のノウハウが不足しており、庁内体制が整っていない。同様に、地元企業のノウハウも不足している。
- 導入可能性調査等を実施するため、従来手法と比較して時間と費用がかかる。